

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道13号 福島西道路（Ⅱ期） <small>ふくしまにし</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：福島県福島市松川町浅川 至：福島県福島市大森 <small>ふくしま まつかわ あさかわ ふくしま おおもり</small>	延長	6.3 km		
事業概要					
<p>一般国道13号は福島県福島市から秋田県秋田市に至る延長約387kmの主要な幹線道路である。          福島西道路（Ⅱ期）は、福島市街地の環状道路の一部を形成する福島市松川町浅川から同市大森に至る延長6.3kmの4車線道路である。</p>					
H24年度事業化		H23年度都市計画決定		H26年度用地着手	
H28年度工事着手					
全体事業費	245億円	事業進捗率	4%	供用済延長	0 km
計画交通量	22,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用	(残事業)/(事業全体) - 億円/183億円	総便益	(残事業)/(事業全体) - 億円/315億円
	(残事業) -	事業費 - 億円/161億円	維持管理費 - 億円/22億円	走行時間短縮便益 - 億円/282億円	走行経費減少便益 - 億円/14億円
基準年 平成23年					
<p>感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施          【事業全体】交通量変動：B/C=1.4~2.0(交通量 ±10%)          事業費変動：B/C=1.6~1.9(事業費 ±10%)          事業期間変動：B/C=1.5~1.9(事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>①円滑なモビリティの確保          ・福島市南部の交通容量を確保し、国道4号の交通混雑を解消              (国道4号並行区間の混雑度 現況1.07→整備後0.76)          ・現道を走行する路線バス(医大・蓬莱団地～福島駅東口)の定時性が向上</p> <p>②安全で安心できるくらしの確保          ・福島市西部から県立医大病院へのアクセスが向上(現況21分→整備後15分)</p> <p>③災害への備え          ・東北自動車道(二本松IC～福島西IC)が通行止めとなった場合の代替路としての機能を強化</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>○福島県知事の意見          国の対応方針(原案)については、異議はありません。          なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に努めてください。</p> <p>○以下の団体等から、福島西道路(Ⅱ期)の整備促進について要望あり。          ・福島県(福島県知事)          ・福島市(福島市長)          ・福島県道路整備促進協議会(相馬市長)</p>					
事業評価監視委員会の意見					
<p>対応方針(原案)どおり「継続」が妥当である。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<p>・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<p>・平成24年事業化、事業進捗率4% うち用地進捗率12%(平成28年3月末時点)</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<p>・事業の進捗に係る問題はない。</p>					
施設の構造や工法の変更等					
<p>・トンネル坑口部の補助工法で新技術(多重先受工法(エコリムーブ併用))を導入し、コスト縮減を図る。</p>					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					
以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



一般国道13号  
福島西道路

凡例	
道路種別	
■ 評価対象区間	
■ 高規格幹線道路	
■ 地域高規格道路	
■ 一般国道	
■ 主要地方道・県道	
■ 市道	
道路種別	
— 4車線以上	
— 2車線	



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。